



## 大地申16号「平成30年度大宮総合車両センター業務量等について」に関する申し入れ その2

7. 直流主電動機修繕工事の委託を拡大する根拠を明らかにし、これに伴う若年出向は行わないこと。また、異動が発生する場合は本人希望を尊重すること。

会社回答：直流主電動機修繕工事については、業務内容及び業務量等を踏まえて部外委託する考えである。なお、社員の運用については、就業規則に則り取り扱っていく。

### 《委託拡大の根拠》

- ・直流主電動機の車両が減少してきており、今後は交流が主体になっていく。
- ・組持ち1名、作業員8名の体制で退職者が平成30年度2名、平成32年度2名となっている。

### 【確認事項】

- ・直流から交流主電動機へシフトをするが、新系列車両の交流主電動機は今後も重要な業務。
- ・若年出向を目的とした委託ではない。
- ・出向期間については、協約で3年とあり、これまで通り取り扱っていく。

### 【車体科】

1. 185系・651系の老朽化に伴い鉄工班で発生する対策工事における課題を明らかにすること。また、209系の腐食対策において十分な工程を確保すること。

会社回答：車両の修繕については、関係箇所と調整のうえ施工しているところである。なお、腐食については、引続き状況を把握していく考えである。

### 《課題》

- ・185系については、経年劣化により状態が良くない。
- ・651系はスカート部分の腐食が激しい状況である。209系についても課題は把握している。

### 【組合】

- ・外板の腐食により基礎が無い。
- ・安全な車両を提供することが使命。
- ・工事の工程確保と、強度等実態把握が必要。
- ・工程内に収めるため、できる人がやるため結果技術継承が出来ない。

### 【会社】

- ・工程を確保できるかがポイント。
- ・廃車発生品の活用など、検討していく。
- ・事前の入検など工程を検討することも必要。
- ・関係箇所と調整をしていく。

2. C57形ATS統合装置搭載・デジタル列車無線取付改造工事の施工内容を明らかにすること。また、未だ工事の施工箇所が決定されていない為、決定以降の議論時間を確保すること。

会社回答：C57形ATS統合装置搭載・デジタル列車無線取付改造工事については、計画的に準備していく考えである。

### 【確認事項】

- ・次年度に影響が無いよう期間を守れるように調整していく。現場の声を参考にしていく。

### 【部品科】

2. 指定保全の台車において制輪子交換が安全に行えるよう専用サイドピットを設置すること。

会社回答：設備の整備については、今後も必要に応じて対応していく考えである。

### 【確認事項】

- ・ピット新設は困難だが、作業環境改善するため現場に確認する。

### 【東大宮センター】

1. 現行のセクションでは、14番線・15番線での作業が非効率になっている為、14番線のピット線の断路器を設置すること。また、15番線に輪重測定器のセンサーを設置すること。

会社回答：設備の整備については、今後も必要に応じて対応していく考えである。

### 【確認事項】

- ・設計時の考えはあるが、慎重に検討していく。